

今回のテーマは「透析合併症-末梢動脈疾患-」についてです。皆さんは日頃、足の状態を確認していますか？

○末梢動脈疾患とは？

足の動脈が動脈硬化により狭くなったり詰まったりした結果、足に十分な血液が流れなくなる病気です。

○透析患者さんは、足の血流が悪くなりやすい？

透析患者さんは全身の動脈硬化が進み、動脈硬化性の病気が発症しやすくなります。透析患者さんの12～15%は、歩くと足が痛む症状のある末梢動脈疾患があります。



☆こんな症状がでます

(皮膚の色の異常)

足先が紫色や蒼白になったり、冷感・しびれがあります。

(歩くと痛む)

一定距離を歩くとふくらはぎが痛くなり休むと回復しました歩けるようになります。

(疼痛)

じっとしていても足が痛みます。

(傷が治りにくい)

ただれができたり、傷ができると治りにくくなります。

☆危険因子

- ・糖尿病
- ・高血圧
- ・脂質異常症(高コレステロールなど)
- ・喫煙
- ・肥満、運動不足
- ・加齢
- ・高リン血症
- ・高カルシウム血症
- など

悪化すると壊死し、足の切断や命の危険にかかわる状態になることもあります!!

危険因子が多くなるほど、末梢動脈疾患を発症しやすくなります。

☆早期発見するために当院での下肢チェック

- 傷の有無、色の確認、温度、足の動脈が触れるかを確認します。
- 下肢挙上・下垂試験をおこないます。

● ABI (足関節上腕血圧比測定)

腕と足首の血圧を測り、動脈硬化の程度を調べます。茂原クリニックで実施しています。

● SPP (皮膚灌流圧測定)

皮膚の表面の毛細血管の流れを測定し、足の血流の程度を調べます。大原クリニックで実施しています。

重症な場合、専門的な検査・治療が必要となります

足を守りましょう

足のここをチェック!

毎日の観察と足の手入れが大切です!

- 1、毎日足を洗い、クリームをつけ保湿をしましょう。
- 2、カイロなどによる火傷に注意しましょう。
- 3、足のタコやウオノメは皮膚科で処置してもらいましょう。
- 4、足にあった靴を選びましょう。
- 5、深爪にならないようにしましょう。
- 6、水虫の治療をしましょう。

小さな傷でも早めにスタッフにお知らせ下さい。

